

全国から約1500人の会員が参加した本会議



多くの関係者が出席した国際ロータリー会長代理歓迎晩餐会



参加クラブを紹介する各地区代表者



大会実行委員長 稲垣 純一



国際ロータリー第2580地区バスターガバナー 石川 正一



国際ロータリー第3482地区ガバナー 周 佳弘



那覇市長 城間 幹子



沖縄県知事 玉城 デニー



国際ロータリー会長代理 千 玄室



国際ロータリー第2580地区ガバナー 新本 博司



ロータリークラブ、沖縄で大会 「奉仕の理想」を求め1500人余が参加

2019-20年度 国際ロータリー第2580地区 地区大会

その後の懇親会には玉城デニー知事も登壇して来沖と寄付の礼を述べ、石川正一バスターガバナーの発声で乾杯。参加者は余興を楽しみながら懇親を深め、最後はカチャーシーで大団円となった。

「首里城の焼失は本当に悲しく、一日も早い再建を心から願う」と述べ、新本博司ガバナーから城間幹子那覇市長に地区内外のロータリアンの思いが込められた支援金2750万円が贈られた。城間市長は「再建・復興に向けて全力で取り組むことを約束する」と感謝を述べた。

翌日の本大会は新本ガバナーによる点鐘でスタート。稲垣純一実行委員長は「令和に入って最初の地区大会であり、東京五輪・パラリンピックの開催される年に沖縄で開催されることには新たな時代の幕開けを感じる」と述べて開会を宣言した。

司会の新垣淑典地区幹事と平仲絢子会員による来賓と地区内外の参加クラブ紹介に続き、新本ガバナーが「友情の絆による1500人余の会員関係者の参加は望外の喜びであり、感謝の念に堪えない。奉仕の実践を通してロータリーのビジョンをどのように描いていくのか皆さんの叡智を結集したい」と力強くあいさつ。「ロータリーの心、茶の心」をテーマに特別講演を行った千会長代理は、自身のロータリー活動と会員の心構えを説いた。その後、各種活動、各委員会報告、決議案審議・採択、記念品贈呈、表彰などが続き、次年度地区大会ホストを務める東京浅草中央ロータリークラブの岩田幸一次年度会長があいさつ。最後は新本ガバナーによる謝辞、点鐘で閉会した。

国際ロータリー第2580地区(新本博司ガバナー)の年次大会が2月12、13日に開かれた。初日は沖縄ハーバービューホテル、2日目は沖縄コンベンションセンターが会場となった。沖縄での開催は7年ぶり。

12日には「世界の理解と平和の推進」をテーマに、一般客も参加した「平和フォーラム」が開催され、NPO法人Future Code代表理事の大類隼人氏が基調講演。その後のシンポジウムは三木明国際ロータリー理事がコーディネーターを務め、3名のパネリストがそれぞれの立場から意見を述べた。

続いて開かれた千玄室国際ロータリー会長代理の歓迎晩餐会では、千会長代理が



ロータリーファミリーの活動報告

懇親会では地区大会の成功を祝って乾杯



フォーラム終了後、千会長代理(右から5人目)、新本ガバナー(その左)を囲んで記念撮影



「平和フォーラム」の様子。(左から)三木氏、大類氏、楊小平氏(ピースボランティアガイド)、Derek Chin氏(国際基督教大学大学院)



右: あいさつする野生司義光ガバナーエレクト(中央)、若林英博ガバナーノミニ(右)、嶋村文男ガバナーノミニ(左)

左: 新本ガバナーから沖縄の染織工芸品『琉球物語』の贈呈



MONTHLY PHOTO NEWS

3

MAR 2020

No.697

726YEN

オキナワリ行

昭和39年9月15日第三種郵便物認可 発行日毎月1日 令和2年3月1日第697号

特集

“生き直し”を支える



〈独占インタビュー〉
この人に聞く

杉良太郎